県内での薩摩義士の顕彰活動

薩摩義士が行った治水工事の功績を後世に継承しようと昭和36年に設立された鹿児島県薩摩義士顕彰会では，毎年，平田靭負の命日にあたる5月25日に，鹿児島市平之町の平田公園で薩摩義士の偉業をたたえる慰霊祭を行っています。

薩摩義士顕彰会では「たくさんの犠牲を払って薩摩義士が成し遂げた偉業を，もっと多くの人々に知って欲しい」と願っています。

平成21年からは，鹿児島県民と岐阜県からの訪問団との交流の場を作ろうと，頌徳慰霊祭前日の24日に前夜祭を開催し交流の機会を設けています。

○　**薩摩義士の顕彰・慰霊祭**

4月：薩摩義士春季顕彰式
（岐阜県海津市の治水神社）

5月：薩摩義士頌徳慰霊祭
（鹿児島市の平田公園）

10月：薩摩義士秋季顕彰式
（岐阜県海津市の治水神社）

右，下／慰霊祭には，顕彰会の島津修久会長や会員，義士の遺族をはじめ，岐阜県の木曽三川流域の市町村関係者や中高生など約600人が参加します。

下／前夜祭では，木曽三川をイメージした手作りの灯ろう約2000個が灯されます。

鹿児島県薩摩義士顕彰会の連絡先

〈住所〉　鹿児島市平之町13-31
会文舎２階

〈電話〉　080-4278-3216

＊ご紹介した鹿児島県薩摩義士顕彰会以外にも，県内の各種団体等が顕彰活動を行っています。

薩摩義士ゆかりの地を歩く

鹿児島県（鹿児島市）

❶ 薩摩義士碑

宝暦治水の工事中に命を落とした80数人の犠牲者の供養墓塔として大正9年に建立されました。藩の出費の責任をとって自刃した治水総奉行・家老平田靱負の碑を頂点に、将棋の駒を並べたような碑です。

❷ 県立図書館

敷地内には、平成2年に岐阜県の旧根尾村（本巣市）から寄贈された薄墨桜が植えられています。

❸ 平田公園

かつて、平田靱負の屋敷があった場所で、園内には昭和30年に平田靱負の銅像が建てられました。平田屋敷跡は、昭和29年に県の史跡に指定されています。

❹ 平田橋

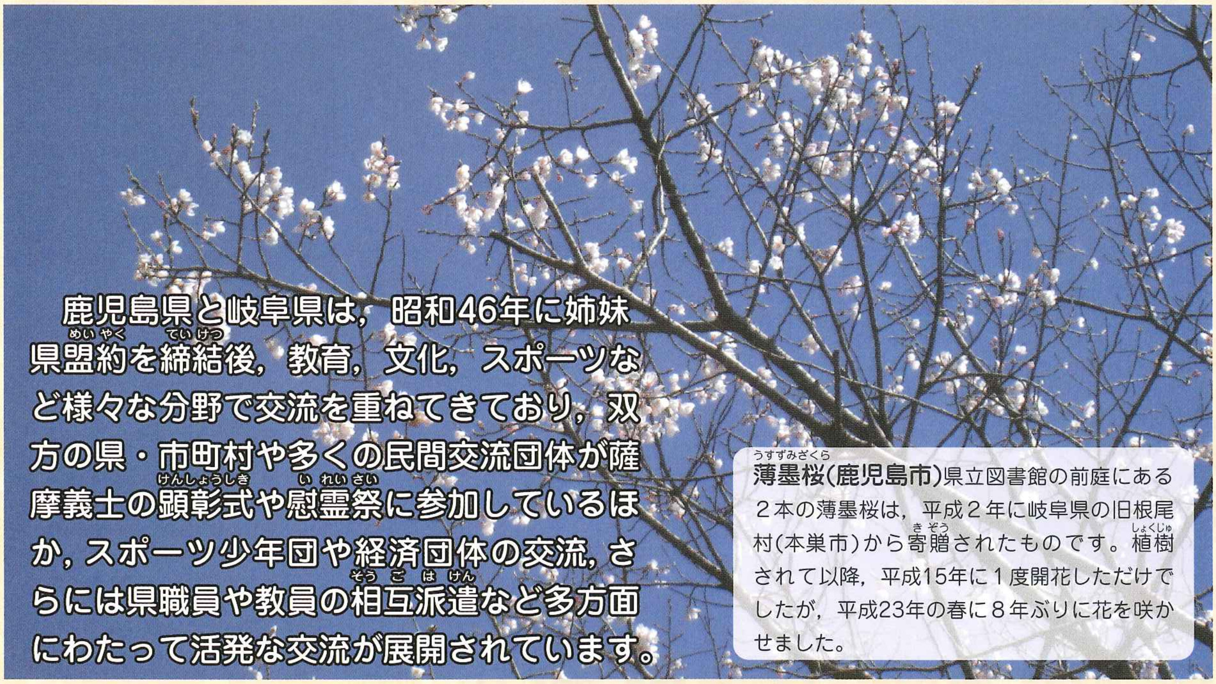
昭和30年に平田靱負の名をとって架けられた橋。人々の生活に欠かせない橋となっています。
現在の橋は、昭和61年に架け替えられたものです。

❺ 薩摩義士の墓（大中寺）

薩摩義士240年祭を機に、工事で犠牲となった薩摩義士の遺徳を顕彰し供養するため、大中寺に墓が作られました。

岐阜県,三重県

姉妹県交流



鹿児島県と岐阜県は，昭和46年に姉妹県盟約（めいやく）を締結（ていけつ）後，教育，文化，スポーツなど様々な分野で交流を重ねてきており，双方の県・市町村や多くの民間交流団体が薩摩義士の顕彰式（けんしょうしき）や慰霊祭（いれいさい）に参加しているほか，スポーツ少年団や経済団体の交流，さらには県職員や教員の相互派遣（そうごはけん）など多方面にわたって活発な交流が展開されています。

薄墨桜（うすずみざくら）（鹿児島市）県立図書館の前庭にある２本の薄墨桜は，平成２年に岐阜県の旧根尾村（本巣市）から寄贈（きそう）されたものです。植樹（しょくじゅ）されて以降，平成15年に１度開花しただけでしたが，平成23年の春に８年ぶりに花を咲かせました。

時を超（こ）えて受け継がれる交流の絆（きずな）
～鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業～

鹿児島・岐阜青少年ふれあい事業とは・・・

昭和46年に鹿児島県と岐阜県が姉妹県盟約（めいやく）を結んだことをきっかけに,両県の青少年が隔年（かくねん）に相互（そうご）の地を訪問し,歴史的な関わり合いを認識しながら友情のきずなを深めることなどを目的に,昭和47年度から実施しています。

これまでふれあい事業に参加した方々が中心となるＯＢ団体として，鹿児島県内に「鹿児島県「美濃（みの）の会」」，岐阜県内に「岐阜県さつまの会」が結成（けっせい）され，交流が行われています。

両会では，ふれあい事業に参加する青少年に対して心構（こころがま）えや事業内容を説明する事前研修や，研修内容や視察（しさつ）場所の選定（せんてい）などの企画（きかく）運営（うんえい）を行っており，二つの県の橋渡し役も務めています。

下／ふれあい事業交流旗

上／両県の「絆」を確認する青少年ふれあい事業参加者

鹿児島県「美濃の会」 事務局長 池下 真也 さん

鹿児島からの参加者の中には、宝暦治水についてあまり知らないという方も多いので、岐阜の交流生の話を聞いて刺激を受けることも多いですね。岐阜の人たちが、鹿児島に足を向けて寝られないという話を聞くと驚く人たちも多いです。先人のことを大切に思ってくれてるということを知るにはいい機会ですね。

ふれあい事業は、お互いの県を知る第一歩。これをきっかけに、いろいろな人と交流の機会を持ってもらいたいです。

○薩摩義士から生まれた「絆」 吉永美郷さん（平成22,23年度39,40期参加者）

ふれあい事業に参加し宝暦治水の歴史を学んだことで薩摩義士の素晴らしい働きが、両県の間に深いつながりや絆を生んだことを知りました。“一期一会”といいますが、薩摩義士を縁に始まったこの交流によって生まれた出会いに感謝し、学んだこと、感じたことを忘れずに今後の生活の中で生かしていきたいです。

【問い合わせ先】鹿児島県「美濃の会」 TEL：099-253-9857（鹿児島県青少年団体連絡協議会）

岐阜県さつまの会 会長 林 豪太さん

ふれあい事業が縁で結ばれたという豪太さん（岐阜県出身）と利江さん（鹿児島県出身）ご夫婦。

岐阜県さつまの会は、ふれあい事業の参加者が「一度参加しただけで終わるのはもったいない」と32年前に結成しました。会には、大学生から60代まで幅広く、さまざまな職業の方がいらっしゃいます。

岐阜への受け入れ事業では、さまざまなメニューがあり好評だとか。

ふれあい事業の目的は、両県の理解と絆を深めること。宝暦治水のことはもちろんお互いの県のことを知るいい機会なので、これからも積極的にこの事業をサポートし、薩摩義士の心をより多くの人に伝えるため、そして後世に継承するために、よりよい交流の場を作っていきたいですね。

【問い合わせ先】岐阜県さつまの会 TEL：058-273-4946（特定非営利活動法人 岐阜県青年のつどい協議会）

そのほかの交流団体（鹿児島と岐阜）

民間：鶴垣鹿維と大垣青年クラブ／鹿児島ライオンズクラブと羽島ライオンズクラブ／鹿児島東ロータリークラブと岐阜サンリバーロータリークラブ／伊集院ロータリークラブと不破ロータリークラブ／鹿児島県建設業協会と岐阜県建設業協会／国分さつま会と海津さつま会／関ヶ原戦跡踏破隊実行委員会と養老ライオンズクラブ／霧島商工会議所と養老ライオンズクラブ／日置市スポーツ少年団と関ヶ原町スポーツ少年団／霧島市連合青年団と海津青年クラブ／永吉南郷会と島津関係市町村友好交流事業実行委員会／吹上青松太鼓保存振興会ともんでこ太鼓保存会ほか

行政：鹿児島市と大垣市／霧島市と海津市／日置市と関ヶ原町・大垣市

鹿児島県の魅力

百合ヶ浜

鹿児島県最南端にある与論島の東部沿岸から約1.5㎞の沖合に浮かび上がる百合ヶ浜は，干潮時にしか現れない神秘の浜です。干潮時になると，エメラルドグリーンの海面に純白の砂浜が姿を現します。砂の中にキラリと輝く星形の小さな砂が，歳の数だけ拾うと幸運を呼ぶといわれている星砂です。

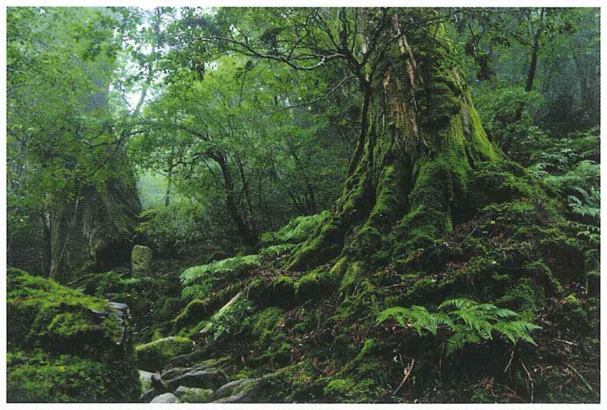
種子島宇宙センター

青い海と黄金色の砂浜，そして緑に囲まれた種子島宇宙センターは，世界一美しいロケット打ち上げ基地といわれています。ここにはロケットを打ち上げる射場，宇宙開発のことがわかる宇宙科学技術館など最先端技術が集結していて，宇宙への玄関口であることが実感できます。昭和44年に設立されました。

おはら祭

鹿児島の秋を代表するおはら祭は，毎年文化の日に開催されます。11月2日の前夜祭(夜まつり)と3日の本まつりの両日，高見馬場～桜島桟橋通りの約1.5㎞を，海外からの参加者も含め，老若男女の踊り連が練り歩きます。鹿児島市民の熱意により，昭和24年，市制施行60周年を記念して始められました。

白谷雲水峡



平成５年，世界自然遺産に登録された屋久島の海の玄関口である宮之浦港から車で30分ほどの白谷雲水峡は，屋久杉や照葉樹が生い茂る原生の森です。遊歩道として3つのコースが整備されています。

宮崎駿監督のアニメ大作「もののけ姫」の森のモデルといわれています。

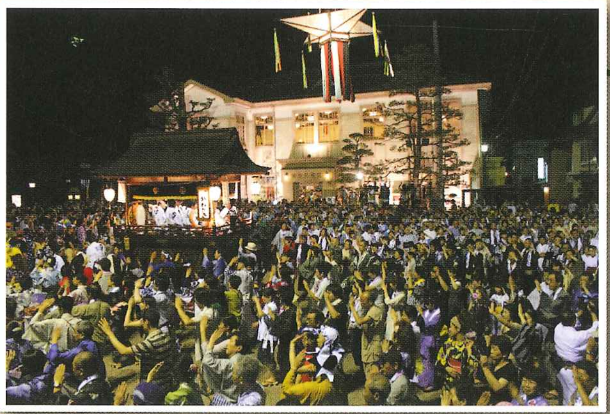
岐阜県の魅力

長良川の鵜飼

長良川に夏の訪れを告げる風物詩で1300年続く伝統行事の鵜飼は，毎年5月11日から10月15日まで，川の増水時と中秋の名月の日を除いて毎夜開催されます。1300年の歴史を支えたのは，織田信長や徳川家康などの時の権力者の保護を受けたからと言われ，古風な衣装が歴史の古さを物語ります。

岐阜城

金華山山頂にある岐阜城は，斎藤道三・織田信長の居城として有名です。天守閣からは，長良川や遠く連なる伊吹の山並が一望できます。期間限定でパノラマ夜景も楽しめます。



郡上おどり

国の重要無形民俗文化財に指定されている日本三大民踊の一つと言われています。三十余夜にわたり郡上市八幡町内一円で開催され，8月13日～16日に行われる徹夜おどりが最大の見せ場となります。

白川郷合掌造り集落

平成7年，ユネスコの世界文化遺産に登録された白川郷は，機能的・景観的に優れた合掌造りの家屋，約百十棟が集落を形成しています。例年，1月・2月に開催されるライトアップは，あたり一面が銀世界に覆われた合掌造り家屋に降り積もる雪を幻想的に照らし出す，冬の白川郷の風物詩です。